

平成 2 7 年度事業 足立区ギャラクシティ運営評価委員会評価書

施 設 名：ギャラクシティ（足立区子ども未来創造館・足立区西新井文化ホール）
指定管理者：あだち未来創造ネットワーク

1～5 調整得点合計	得点比率	総合評価
777/1000 点	77.7%	B ⁺

得点比率	評 価	評 価 内 容	
90% 以上	A ⁺	A	当該分野について、良好である。
80% ～ 89%	A ⁻		
70% ～ 79%	B ⁺	B	当該分野について、適正である。
60% ～ 69%	B ⁻		
50% ～ 59%	C ⁺	C	当該分野について、課題がある。
40% ～ 49%	C ⁻		
39% 以下	D	D	当該分野について、至急改善が必要である。

評価分野	評価項目	得 点	評価分野 合 計	得点比率	評 価 (前年度)	得点調 整指数	調整得点	委員会からの意見
1 管理運営体制	利用者が快適に、安心して過 ごせる環境づくりの推進	5/ 6	12 点 (15 満点)	80%	A ⁻ (A ⁻)	1	80 点	積極的に接遇の向上に取り組み、清掃や整備の徹底など快適空間創出に努力していることが、第3者による接客チェック報告の高評価に表れている。しかし、初来館等、不慣れな方への気配りに欠ける面があるため、もう一歩踏み込んだ接客に努め、さらなるステップアップに期待する。また、利用者が増加する中、大きな事故等もないことから危険防止策の成果が表れ、加えて、安全配慮への意識も高く評価できる。このことから現組織は機能し運営状況は良好と判断できるが、業務多忙により人材育成の面では日常業務に追われ本当の意味で人材活用ができていないか疑問である。ギャラクシティのプレゼンスを上げるためには、人材育成や利用者でない潜在的利用者に対する分析等を含め、全体戦略を考える組織体制の構築が必要である。
	利用者のサービスアップにつ ながる機能的な組織運営	7/ 9						
2 子ども体験事業	遊び・創作・科学体験事業他	6/ 9	12 点 (18 満点)	67%	B ⁻ (B ⁻)	3	201 点	利用者数、実施回数の実績が高く、乳幼児の保護者向けの講座を増やすなど利用者ニーズを捉えた事業展開や大学連携等も進展しており評価できる。一方、多数の来場者対応のためか人数や回数を追及した一過性の事業が多く見られる。今後は、区民の声をより積極的に反映し、継続性のある内容を充実した事業の開発、取り組みに注力してほしい。また、ボランティア育成に配慮した事業展開は認めるが、ギャラクシティの中核的な位置にその活動があるとはいいがたい。これまで指摘を受けながら改善が見られないことから、ボランティアの育成は時間がかかる問題であり、現体制では対応が困難なことも想定されるため、多様な人材、組織を巻き込んだ方針や目標などを区と調整のうえ再構築し、ボランティアの活性化、組織を育む取り組みを実施し「ボランティアな区民の参画を誘う取り組み」の実現に期待する。
	開発事業・ふれあい交流事業	6/ 9						
3 まるちたいけんドーム活用事業	まるちたいけんドーム活用事業	8/ 9	8 点 (9 満点)	89%	A ⁻ (A ⁻)	3	267 点	まるちたいけんドームの特性を活かし、多角的、ユニークな事業展開をしており人気も高く、利用者数、実施回数ともに実績は高く評価できる。また、他施設と連携した事業も魅力的である。しかし、多彩なプログラムを行うことによって、「星空観察の学習」という中核部分がやや希薄になっている印象を受ける。また、学びの場として、星空観測を通じて宇宙への理解を深め、理系への興味を持たせるようアタカマの映像、全天ライブ星空映像、大型望遠鏡の今後の活用を期待する。合わせて満足度の向上を図るためにも、多様な利用者や今後の利用者を想定し、継続的プログラムの実施や異なる年代や興味の対象に応じた複数の事業を展開していくことに期待する。

平成 2 7 年度事業 足立区ギャラクシティ運営評価委員会評価書

4 文 化 事 業	豊かな文化芸術に触れる機会の提供	10/12	17 点 (21 満点)	81%	A ⁻ (A ⁻)	2	162 点	大人から子どもまで利用者のニーズに合わせた多様なプログラムを展開している点は評価できる、特に体験プログラムは子どもの興味を惹きつける手段として大変有効だと思うので今後も継続を期待する。一方、文化ホールの特徴が不明確であるため、ビジョンを明確化し西新井文化ホールらしさを区内外にアピールできるよう独自性のある、例えば家族三世代で観覧できるコンサートやシリーズ事業の開発などの取り組みに注力してほしい。また、ホール利用団体とのコミュニケーションを図ってきたことは評価できる。しかし、協働・連携とまではいかず、場所とスタッフの提供の域を超えていない。区民に愛されるホールになるために、ギャラクシティ全体として若い世代への働きかけなど、多くの区民を巻き込んだ協働の幅を広げていくことを期待する。
	区民との協働による文化活動の振興	7/ 9						
5 広 報 事 業	利用者のニーズにあわせた取り組みと提案書の遂行	4/ 6	4 点 (6 満点)	67%	B ⁻ (A ⁻)	1	67 点	広報誌、メディア活用等多様な発信を積極的に駆使した結果、利用者数が過去最高を記録していることなどから、成果を上げていると思われる。特にＨＰの充実と質を維持していることは評価できる。一方、区民へのアプローチにおいては、総利用者数に占める区民の割合が減少傾向にある課題への対応が不十分であり、また、全体的に広報活動がルーティン化している印象がある。今後は、足立区内における認知度を高める広報活動を充実し区民の認知率・利用率を高めるとともに、既存の施設を活用しながら、区民が足を運びたくなる、愛される施設になるための取り組みに期待する。